

1. 調査報告概要表

作成日 平成19年12月3日

【評価実施概要】

事業所番号	1298600014
法人名	株式会社 ユーアンドエヌ
事業所名	グループホーム いきいきの家 いすみ
所在地	千葉県いすみ市岬町桑田2538 (電 話) 0470-80-2083
評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8
訪問調査日	2007/11/29

【情報提供票より】(平成19年11月7日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年5月1日				
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18	人	
職員数	18 人	常勤	15人, 非常勤	3人, 常勤換算	15.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り
	1 階建ての 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円
敷 金	有(円) 〇無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000円) 無	有りの場合 償却の有無	有/ 無
食材料費	朝食 300 円 夕食 500 円 または1日当たり 円	昼食 400 円 おやつ 100 円	

(4) 利用者の概要(11月7日現在)

利用者人数	18 名	男性	4 名	女性	14 名
要介護1	5 名	要介護2	4 名		
要介護3	4 名	要介護4	5 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83 歳	最低 72 歳	最高 91 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団寿光会 岬病院
---------	---------------

株式会社日本ビジネスシステム

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然に囲まれたのどかな環境の中に「グループホームいきいきの家 いすみ」がある。協力病院がすぐ近くにあり、しっかり連携もなされているので安心である。敷地内には広い庭があり、日光浴やバーベキュー・花火大会などが行われている。また、畑もあり入居者共同のもと季節の花や野菜が植栽されている。車椅子で入れる通路やベンチが設けられており、見学も含め入居者全員が植栽に参加できるよう配慮されている。施設内は全面バリアフリーで開放感があり、両ユニットを自由に行き来できるように通路のつくりも工夫されている。展示物も多く明るくやさしい雰囲気があり、居心地がよい空間がつけられている。理念に基づき、在宅感覚で自由な暮らしをしてもらえるような支援を心がけていると共に、レクリエーション活動に力を入れており、楽しみのある生活を提供している。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	初回の外部評価の為、前回評価はなし。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	初回の外部評価ではあるが、評価の意義については職員全員が理解しており、評価結果を活かしたサービス提供を目指している。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	地域の関係者を構成員として運営推進会議を行っている。会議では施設の活動報告や地域と共存していくための話し合いがなされており、今後は地域交流の促進と地域貢献を主眼にして検討していく予定である。また、市との連携においては、連絡会議の参加や日頃の連絡等により情報交換を行うと共に、適切な指導を仰ぎながら業務の適正化を図っている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	入居者の生活状況や金銭管理については文書や活動報告書及び面会時に定期的に報告しており、その都度要望等を確認している。また、苦情窓口や意見箱を設置しており要望等を汲み取る仕組みはできている。要望等についてはすぐに対応し業務運営に活かしていく予定である。今後は家族会の開催も検討している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の自治会に加入しており、地域活動やボランティアの受け入れを含めた地域交流の促進に努めている。現在、十分な活動や交流が行われていないので、運営推進会議や地域への呼びかけを通して地域に根ざした施設運営を目指している。

2. 調査報告書

( 部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者の尊重と安心及び安全な生活を主眼とした独自の理念を、管理者を中心に全職員共同でつくりあげている。	○	独自の理念に地域密着型サービスとしての役割を目指した内容を付加し、さらなる地域生活の継続支援と地域との関係性の強化を目指していただくことを期待します。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全体ミーティングで定期的に理念の確認をしている。理念を基本とした接遇のあり方について力を入れて研修しており、適切な対応を心がけている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の自治会に加入しており、地域活動及び地域交流の促進に努めている。地域のボランティアの方々が定期的に施設に訪し、歌や踊り等を披露しみんなで楽しむ時間をつくっている。今後は地域の方々や入居者の家族に参加を集い、共同でお寿司作り等を行う予定である。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価については管理者及び各ユニットのリーダーで行っている。外部評価の意義については職員全員が理解しており、評価結果を活かして業務を改善し、サービスの質の向上につなげたいと思っている。	○	職員全員が自己評価票の作成に関わることにより、評価の意義や活用方法の理解をさらに高めていただくことを希望します。

【千葉県】グループホームいきいきの家 いすみ

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	入居者の家族・区長・民生委員・いすみ市職員・協力 病院事務長・施設職員を構成員として運営推進会議を 行っている。会議では施設の活動報告や地域活動へ の参加・ボランティアの受け入れ・レクリエーション活動 の強化について話し合われている。今後は地域との交 流行事の促進や地域貢献について検討していく予定 である。		

【千葉県】グループホームいきいきの家 いすみ

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	福祉関係の連絡会議に参加し、情報交換を行っている。また、直接担当者と連携し、事業運営についての質問を行ったり指導を受けることにより業務の適正化を図っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	職員紹介を含めた写真入の活動報告書を毎月発行している。生活状況については面会時に報告すると共に必要に応じてその都度連絡している。また、定期的に来訪できない家族に対しては文書で報告している。金銭管理については毎月の利用料請求時に報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に直接要望等を確認していると共に、苦情窓口や意見箱を設置している。意見・要望・苦情はほとんどないが、今後あった場合はすぐに対応し業務運営に活かしていく予定である。現在、家族会は行っていないが、今後は開催を検討し、家族同士の意見交換の場を確保したいと考えている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	入職や退職の挨拶については職員個人で各入居者に行い了承を得ている。入職後はできるだけ会話を多く持つことを心がけ、馴染みの関係づくりに努めている。夜勤業務についてはお互いの信頼関係ができてから配置している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は全員参加を目指し積極的に実施しており、実施の都度ミーティングで研修報告を行い、内容の共有化を図っている。また、協力病院の勉強会にも参加している。内部研修もミーティング等の機会に定期的実施している。特に接遇に関する研修は年4回実施しており、質の高い入居者対応を心がけている。研修の効果は少しずつ出てきており、サービスの質の向上が図られている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホーム連絡会に定期的に参加しており、情報交換や勉強会を行っている。また、相互の見学会も行っており、相互の優れた部分を取り入れながらサービスの質の向上に努めている。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に面接や体験入居も行っており、本人と話し合いながら入居の了承を得ている。入居後は担当者を決め、生活に慣れるまで長い時間一緒に過ごせる期間を設け、馴染みの関係を築いている。また、状況に応じて家族の協力も得ながら安心かつ安定した生活がはかれるように支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者の意向を踏まえた上で日々の生活支援を行っている。共同生活及び共同作業を通して、調理や畑仕事等で教えられることも多く、職員の学びにつながっている。また、入居者からかけられる一言によって、癒されることも多い。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で声をかけ、本人の意向の把握に努めている。特に食事や外出等については意向を反映した支援を行っている。意向の把握が困難な場合は、家族と相談し情報を得ながら検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人に関する情報を収集した上で、計画作成担当者が入居者の担当者が共同で介護計画を作成している。	○	本人の家族や関係者を含めて話し合いを行い、より意見や要望が反映された計画作りを希望します。また、職員全員で意見及び情報の交換を行い、気づきを活かした支援内容を検討すると共に計画内容の共有化にも努めていただくことを希望します。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的に評価を行い、計画の見直しを行っている。入院等により入居者の状況が変化した場合は、その都度見直しを行い、適切な支援ができるようにしている。	○	家族及び職員を含め、なるべく多くの関係者と話し合いを行いながらそれぞれの意見や気づきを反映した見直しを行うことにより、現状に即した適切な計画作りにつながることを期待します。

【千葉県】グループホームいきいきの家 いすみ

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ほとんどの入居者の通院支援は職員が行っており、家族の負担軽減に努めている。また、入院中の支援も行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	施設のすぐ近くにある協力病院を中心として受診の支援をしているが、基本的には本人及び家族の希望によりかかりつけ医を決めており柔軟に対応している。必要な入居者には訪問歯科診療も行っている。週に1回、協力病院の看護師が入居者全員の様子観察を行い健康管理に努めている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居者の心肺停止時における対応については、家族と書類を取り交わしているが、重度化や終末期に向けた方針や対応については現在検討中であり、医師の判断で対応している。今後は施設としてできることとできないことを明確に判断して対応していく予定である。また、適切な対応ができるように職員教育にも力を入れていく予定である。	○	施設としての重度化や終末期に向けた方針及び対応を明確にすると共に、関係者の意見・意向を確認しながら対応方針を共有し、適切な支援ができるようになることを期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の書類等については鍵付の書庫で保管し個人情報の保護を図っている。定期的な研修やミーティングにより、言葉かけに対する注意を促しながら適切な対応を心がけている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事・入浴・外出等本人の意向を確認した上で日々の生活支援を行っている。また、本人の希望や能力に応じて職員との共同作業に参加していただき、生活の活性化につなげている。		

【千葉県】グループホームいきいきの家 いすみ

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理や盛り付け・後片付けを職員と共同で行っていると共に、同じテーブルで食事を囲み、楽しく食事ができるような雰囲気づくりを大切にしている。朝食と週1回の昼食はオリジナルメニューとなっており、入居者と相談しながら献立を決めて食材の買物に出かけている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望に応じて入浴を実施している。また、夕食後の入浴も可能であり時間的な対応も柔軟である。片方のユニットにはリフトが設置しており、身体状況に応じた支援ができるようになっている。入浴を拒否する方に対しては、言葉かけを工夫したり入浴日を変更しながら入浴の機会を確保し、清潔の保持に努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	レクリエーション活動に力を入れており、地域の方の協力も得ながら定期的に誕生会・外出会・食事会等を企画・実施し、楽しく生き生きとした生活がおくれるように支援している。また、作品づくりや食事・洗濯・草むしり・買物等の日常活動を通して個人の力を活用した生活支援を行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	定期的に外出会を実施しており入居者と職員で楽しみを共有している。実施後は写真等を掲示しており、外部の方にも楽しみが伝えられている。天候や体調に応じて散歩も日々実施しており、入居者の気分転換を図っている。外出がすすまない方に対しても言葉かけを工夫し、閉じこもりを防止している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の開閉チャイムを活用しながら鍵をかけずに支援している。外に出た場合でも無理に引き止めず、見守りや言葉かけにより柔軟に支援している。居室の鍵は入居者の意思により自由にかかけられるようになり、本人の意思を優先している。適切かつ定期的な言葉かけにより、閉じこもりにならないように配慮している。		

【千葉県】グループホームいきいきの家 いすみ

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の消防署の協力のもと非難・消火・通報訓練を実施している。災害時における地域の方々との協力体制については、今後の運営推進会議において検討していく予定である。	○	災害を想定した訓練の実施を継続すると共に、地域との協力体制を確立し、万全な災害対策を講じることを希望します。

【千葉県】グループホームいきいきの家 いすみ

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	本人の好みや能力に合わせて適切な食事提供を行っている。食事や水分摂取の記録もしっかり行っており、摂取量が少ない場合は、本人が食べたいものを中心に必要な栄養を補給している。また、長期に渡る場合は病院に受診し、点滴で対応している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	全面バリアフリーでゆったりとした空間づくりがなされている。お互いのユニットが自由に行き来できるように通路のつくりも工夫されている。共有空間には入居者がくつろげるようにテーブル・ソファ・和室スペースが配置されていると共に、作品や外出会の写真等が掲示されており、居心地よく過ごせるように配慮されている。敷地内に広い庭があり、自由に出入りができるようになっており日光浴や散歩等が可能である。また、畑では季節の花や作物を栽培しており、入居者も積極的に参加している。畑には車椅子が通れるスペースとベンチが設けられており、直接参加できない方でも見学できるようになっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の希望により馴染みのものを持ち込むことが可能であり、居心地よく安心して生活ができるようになっていく。また、希望に応じて畳を敷くことも可能である。全居室にエアコンが設置してあり空調も適切に行われている。各居室の表札は入居者の目線に合わせて設置されており、本人の写真を入れるなどして分かりやすいように工夫をしている。		